

令和5年度 研究構想図

学校教育目標

『高くかかげよ』
～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

研究主題

『カリキュラム・マネジメントを活かした主体的な学びの創造』
～プロジェクト学習の充実と指導と評価の一体化を活かした課題発見・解決学習の単元開発～

研究仮説

コアカリキュラム・各教科・領域が絡んだ、教科等横断的な課題発見・解決学習を
地域社会と連携して展開すれば、生徒一人一人の学びが主体的なものとなり、資質・能力をより良く
高めることができるのではないか。

本校で育成を目指す資質・能力

主体性
(自己との関わり)
→好奇心と課題発見力, 自尊心

コミュニケーション能力
(他者・社会との関わり)
→読解力と対話力

日比中スタイルを活用した
探究学習

各教科

道徳教育
(道徳の時間)

特別活動
(学活, 学校行事)

特別活動
(コアカリキュラム)

研究内容① コアカリキュラム, 全教科・領域が互いに絡んだ課題設定

単元を貫く問い

中心発問

議題の充実

単元を貫く問い

研究内容② 各教科の見方・考え方と「そもそも」を活かした話し合い活動とねりあい活動

話し合い活動

話し合い活動

話し合い活動

話し合い活動

研究内容③ 本質的な問いを活かした単元開発

本質的な問い

本質的な問い

本質的な問い

本質的な問い

各教科・領域の土台となる言語活動

- ・知的活動（論理や思考）及びコミュニケーションや感性、情緒を育成する活動
- ・各教科で培った言語に関する能力
- ・生徒発表の場（自己表現）
- ・各教科の見方、考え方を生かして
- ・読書活動、ビブリオバトル

学校評価 重点目標

- (1) 感動と涙と歌声と笑顔あふれる卒業証書授与式（年間通して「達成感」と「あこがれ感」の醸造、歌声のリポーン）
- (2) 主体的な学びを促す授業づくり（課題発見・解決学習）の更なる深化
 - ①カリ・マネを通した使える学力の育成
 - ②教科の見方・考え方を活かした話し合い活動とねりあい活動定
 - ③本質的な問いを活かした単元開発
 - ④学習評価と指導の一体化
- (3) 生徒の心に寄り添う生徒指導と進路指導（指導の入り人間関係・ケース会議・アセス、生徒の主体性的成長のサポート）
- (4) 特別活動の推進（「そもそも」を活かした話し合い活動・「成長の見える化」・学級集団づくりの共有化）
- (5) カリマネを活用した社会に開かれた教育課程（地域と共につくるプロジェクト型学習・コミュニティスクールの活用）
- (6) 「考える道徳」の充実
（道徳以外の全教育活動で道徳価値に出会わせ、道徳の時間ではその道徳的価値に気づかせ、考えさせる）
- (7) 地域と創る学校「コミュニティスクールの実働」・小中連携・広報活動